

多機関の協働による連携事業(ひきこもり対策)実施状況について

福祉あんしん課

1 事業概要

社協に3年間委託していた事業を令和2年度から町直営で行っています。

専門の相談員を福祉あんしん課に配置し、3年計画でひきこもり対策を実施、『地域共生社会』の実現へ向けた取組を行っています。

2 人員体制

相談支援包括化推進員1人(社会福祉主事有資格者)

3 経過

民生児童委員とともに実態把握の訪問調査を実施、チラシの配布と説明を行っています。
町内6,400戸の内3割の訪問を終え、ひきこもりとみられる方の個別票を作成しています。

4 調査結果中間報告(12月10日現在)

- (1) 対象者 20人
- (2) 性別 男性17人・女性3人
- (3) 年代
10代：1人 20代：1人 30代：3人 40代：3人 50代：9人 60代：3人

5 今後の予定

- ・令和2年度末 全町7割の訪問調査を実施、個別支援
- ・令和3年度 全町の訪問調査を終え居場所づくりの開拓、地域の中で相談受付
- ・令和4年度 個別支援、地域での相談、居場所の拡充

6 「地域共生社会」とは

- ・地域(近所)の相互扶助などの助け合いにより、人と人がつながりあうこと。
- ・全ての人が役割を持ち・認め合い・支え合うことで地域の課題を解決していく社会